

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--|
| 事業名 | 武石美ヶ原山麓ソバ振興事業とソバと菜の花による景観形成事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 武石ソバ活性化組合 (武石地域自治センター産業観光課 電話 0268-85-2828) |
| 事業区分 | (6)イ 農業の振興と農山村づくり |
| 事業タイプ | ソフト・ハード事業 |
| 総事業費 | 5,926,174円 (うち支援金: 3,955,000円) |

事業内容

- 1 遊休農地活用による菜の花とソバによる景観形成
- 2 ソバの試作販売及び菜種油販売による地元農産物のブランド化
- 3 菜種播種作業、ソバ打ち講習会、新そば販売による市民との交流



【菜の花種まき作業】

事業効果

- 1 遊休農地を利用し、新品種の桔梗8号(信州ひすいそば)を試験栽培し農地の有効利用を図った。
併せて農業体験研修の受け入れを行い都市農村交流事業の推進に貢献した。
菜の花栽培は、経験不足と前年の寒さも影響したことから栽培に失敗し菜の花畑とすることが出来なかった。
ソバは計画どおり栽培が行われ、8月中旬には県道沿いのほ場2haは一面白と緑のコンコントラスで地域の景観形成を図った。
- 2 地元産ソバの販路拡大とブランド化のため、収穫された地元産ソバを使用した半生ソバを試作販売した。風味豊かな商品に仕上がりに年越しソバとして好評を得た。
菜の花栽培の失敗により菜種油は作成できなかったが翌年に向け種まき作業を実施した。
- 3 ボランティアとの菜の花種まき作業、JA 祭に出店し実施した手打ち生ソバを販売、ソバ打ち講習会と市民との交流事業はいずれも好評で次年度以降の開催希望が多く寄せられた。

※1 自己評価 (事業実施率) 【 B 】

【目標・ねらい】

- 遊休農地を活用した地域の景観形成
- ソバ栽培の拡大とブランド化

今後の取り組み

※2 自己評価 (事業効果) 【 C 】

失敗した菜の花栽培も含め本年度実施した事業は、次年度以降も引き続き実施し各種イベント開催の折に地域外から参加していただいた皆さんから好評をいただいた事業を足掛かりとした「むらおこし」活動を推進し地域の活性化に貢献したい。

「武石ブランド」作りのため地域の農業関係者と協力し商品作成コスト削減や販路拡大のための調査研究を推進していきたい。